



第5次 男鹿市生涯学習推進計画 (令和8年度～令和11年度)

男 鹿 市
令和8年3月

目 次

第1章 計画の基本的な考え方

1. 男鹿市生涯学習推進計画とは・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
4. 計画の期間と評価・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2章 男鹿市の生涯学習を取り巻く現状と課題

1. 男鹿市の現状・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. 第4次男鹿市生涯学習推進計画の課題・・・・・・・・ 3
3. 第3次男鹿市子ども読書推進計画の課題・・・・・・・・ 4

第3章 第5次男鹿市生涯学習推進計画

1. 基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
2. 基本方針と推進項目・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3. 施策体系・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
4. 計画の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

第4章 第4次男鹿市子ども読書活動推進計画

1. 子ども読書活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

資 料

1. 生涯学習施設一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
2. 第5次男鹿市生涯学習推進計画策定委員・・・・・・・・ 13

第1章 計画の基本的な考え方

1. 男鹿市生涯学習推進計画とは

男鹿市生涯学習推進計画は、各家庭及び各公民館、図書館等あらゆる機会や場所において生涯学習推進体制を充実させると共に、市民の学びの自発的意志に応え、本市総合計画の都市像である「人口減少社会に対応した 元気で心豊かに暮らす男鹿」の実現を目指すために定めていくものです。

2. 計画策定の趣旨

男鹿市では、2021（令和3）年度から2025（令和7）年度までを計画期間とする「第4次男鹿市生涯学習推進計画」を策定し、いつでも、だれでも自由に学習機会を選択して学び合える環境整備と、青少年の豊かな人間性や社会性、地域の教育力の向上に努めてきました。

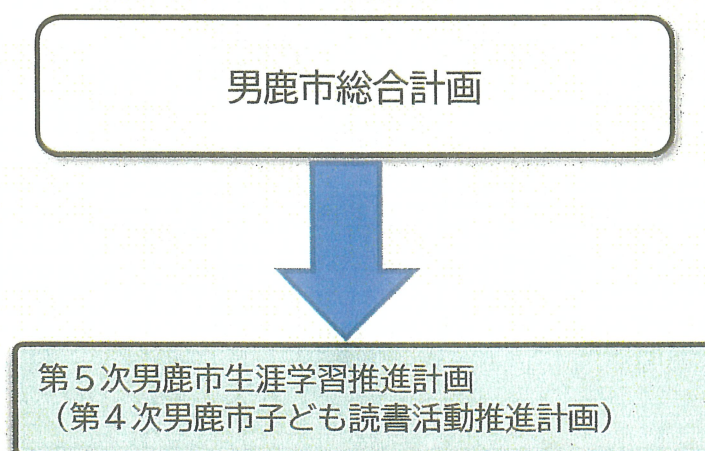
第4次計画期間中に、コロナ禍の影響によるDXの急速な普及や人口減少による地域コミュニティの衰退等、社会情勢の大きな変遷に伴い、生涯学習を取り巻く社会環境及び課題も変化しました。

このような現状を考慮し、市民一人ひとりの生涯を通じた切れ目のない生涯学習推進体制の充実を図るため、市民が自主的な学習に意欲的に取り組めるよう環境を整えていきます。

以上を踏まえ、個人の心の豊かさだけでなく、地域社会をより豊かにする事業を展開していくために「第5次男鹿市生涯学習推進計画」を策定しました。

3. 計画の位置づけ

男鹿市生涯学習推進計画は、生涯学習分野における具体的な取組を推進していくための基本的な考え方や施策を示すものです。男鹿市総合計画をはじめ、教育や文化財、保健、福祉、介護などの関連計画との整合性を図りつつ施策を進めていきます。



4. 計画期間と評価

計画の期間は、2026(令和 8)年度から 2029(令和 11)年度までの 4 年とします。

2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度
1 年目	2 年目	3 年目	4 年目
			
			最終評価 次期計画策定

第2章 男鹿市の生涯学習を取り巻く現状と課題

1. 男鹿市の現状

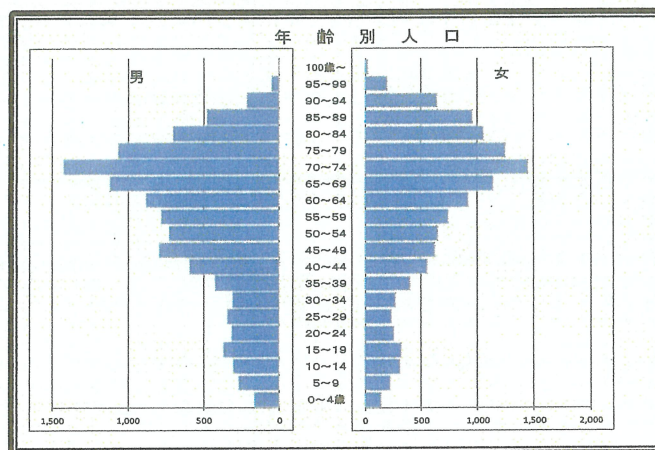
人口動向

男鹿市の人口は、市町村合併後をピークに年々減少し続けています。

年少人口は減少傾向にあり、出生数は、令和3年度は72人でしたが、令和6年度39人となっています。

一方、高齢化は年々上昇し、令和3年度の高齢化率は49.8%でしたが、令和6年度は52.2%で、全国や秋田県と比較しても高くなっています。

人口減少・少子高齢化が進行しても、市民一人ひとりが人生の豊かさを維持・向上させ、地域社会をより豊かにしていくために、生涯学習の推進は必要です。



男鹿市の人口
(令和7年3月31日現在)
男性 11,031人
女性 12,133人
総数 23,164人

2. 第4次男鹿市生涯学習推進計画の課題

課題①：人材の高齢化・人材不足

市の人口構造が示すように少子高齢化や、コロナ禍の影響による情報化社会の急速な発達など生涯学習を取り巻く状況は大きく変化しています。

生涯学習推進の中心を担う生涯学習奨励員の登録は、高齢を理由に辞退されることが増え、会員数も減少しています。

また、学びたい人と教えたい人とのニーズが一致するよう、新規人材の発掘と人材の確保が求められます。

課題②：限定的な学習機会

図書館を始めとする生涯学習施設の利用者が限定的であることから、利用者を幅広く増やしていくために、集合型の講座に加え、オンライン講座や、夜間・土日の講座等、市民の生活様式やニーズを反映して学習機会を増やすことが必要です。

課題③：情報発信不足

生涯学習に関する情報について広く市民に行き届いていないことから、市民の誰もが自らの意思で学び続けられる環境を整備し、さらに、生涯学習の取り組みが、公民館完結型ではなく、地域活性化に還元出来る持続可能な仕組みづくりを構築していくために、広報や市ホームページなどの既存の情報発信と共に、若者をターゲットにして SNS を活用した情報発信を強化していく必要があります。

3. 第 3 次男鹿市子ども読書推進計画の課題

課題①：中学・高校生に相当する年代の読書活動の推進

年齢が上がると不読率が上昇傾向にあります。スマートフォンの普及により情報収集が容易にできるようになりましたが、その反面で動画視聴やSNSによる読書離れも指摘されています。ティーンズコーナーの充実など、本を手にする機会を増やす必要があります。

課題②：多様性に配慮したサービスの充実

大活字本やLLブック(ふりがなや絵、写真などを使って読みやすいように工夫して作られた本)の購入など、障がいのある子どもや日本語指導を必要とする子どもなど、各々の背景に応じた読書機会の確保に努め、読書環境を整える必要があります。

課題③：情報発信不足

図書館利用者が限定的であることから、利用促進を図るため、図書館だよりや SNS を活用し、図書館の活動や利用方法について周知する必要があります。

子どもの読書活動を推進するためには、周囲の大人が子どもと一緒に読書を楽しむことが大事です。家族で楽しめる本を紹介したブックリストの作成など、大人への情報提供が必要です。

第3章 第5次男鹿市生涯学習推進計画

1. 基本理念

人生100年時代を心豊かに生きる、学び続ける力を全ての市民に

本計画では、男鹿市総合計画の目指す「人口減少社会に対応した 元気で心豊かに暮らす男鹿」の実現に向け、市民一人ひとりの生涯を通じた切れ目のない生涯学習推進体制の充実を図ります。社会の変化に適応し、新しい知識と技術を習得し続けるために、市民が自主的な学習に意欲的に取り組めるよう環境及び体制を整えていきます。さらに、地域社会をより豊かにする実効性のある取り組みを推進していくため、「人生100年時代を心豊かに生きる、学び続ける力を全ての市民に」を基本理念として掲げます。

2. 基本方針と推進項目

総合計画の実現を目指すため、基本理念を踏まえ、次の4つの基本方針と推進項目を定めます。

(1)生涯学習機会の充実

- ①家庭教育・学校教育が一体となった生涯学習の基盤づくり
- ②公民館を中心とした地域連携・協働の推進

(2)生涯学習推進体制の整備

- ①情報を発信するためのネットワークづくり
- ②関係団体及び人材育成

(3)生涯学習機関等の充実

- ①公民館・図書館等の計画的な施設整備
- ②機能の充実と施設の認知度向上

(4)子ども読書活動の推進

- ①子ども読書活動の環境整備・充実
- ②子ども読書活動の推進
- ③子ども読書活動の普及・啓発

※第4次男鹿市子ども読書推進計画についても今年度策定となっており、生涯学習と関連が深いことから、第5次男鹿市生涯学習推進計画の中に、第4章として章立て、計画を一本化します。

3. 施策体系

基本方針 (1)生涯学習機会の充実

推進項目

①家庭教育・学校教育が一体となった生涯学習の基盤づくり

主な取組

指標内容	現状(R6)	目標値(R11)
あいさつ運動の協力組織団体	12 団体	17 団体
家庭教育支援チームの活動回数	30 回	33 回
地域学校協働活動推進員の活動回数	51 回	53 回
放課後子ども教室の参加率	13.9%	15%

○「3つの市民運動—読書、あいさつ、体力づくり」を浸透させていくため、地域と連携した取り組みを展開していきます。

○家庭教育の重要性を啓発し、子どもの頃から生涯学習につながる、学び続ける力が身につくような支援内容に努めます。

○家庭教育支援チームや地域学校協働活動推進員の連携を強化して、地域での伝統行事等へ子ども達の積極的な参加を促し、生涯にわたって学び続ける主体性を育めるよう普及啓発に努めます。

推進項目

②公民館を中心とした地域連携・協働の推進

主な取組

指標内容	現状(R6)	目標値(R11)
公民館学級講座の開催回数(全体)	529 回	579 回
地域連携・協働で開催する協力事業の開催回数	1,539 回	1,549 回

○各ライフステージに応じたニーズを把握し、誰もが生涯学習活動に取り組めるよう関係課と連携した機会の充実を図ります。

○外国人、障がい者等に対応できる内容の充実を図ります。

基本方針 (2)生涯学習推進体制の整備

推進項目

①情報を発信するためのネットワークづくり

主な取組

指標内容	現状(R6)	目標値(R11)
各コミュニティセンター・公民館の SNS による情報発信	7 施設	10 施設
オンライン講座の開催 (コミュニティセンター・公民館間の地域交流を含む)	0 回	5 回

○生涯学習の情報が広く市民に浸透していると言い難いことから、既存の情報発信方法だけでなく、LINE やインスタグラム等の SNS を活用し、情報発信ツールの一層の整備に努めます。

○関係機関や他課と連携し、オンライン講座や公民館間の地域交流ができるネットワークを構築します。

推進項目

②関係団体及び人材育成

主な取組

指標内容	現状(R6)	目標値(R11)
生涯学習奨励員の会員数	21 名	25 名
各コミュニティセンター・公民館職員の研修受講数	1 人 1 回	1 人 2 回
各団体同士の交流事業	1 回	10 回

○生涯学習推進を牽引する生涯学習奨励員の会員数が維持できるよう公募をし、人材の確保に努めます。また、生涯学習奨励員一人ひとりが、活動を通して生涯学習の楽しさを啓発することに繋がるよう質の向上に努めます。

○各地域の各コミュニティセンター・公民館職員が、様々な研修の受講を通して、質の高い公民館講座が開催できるよう支援していきます。

○事業の質の向上に結びつくよう生涯学習団体同士の交流を促進します。

基本方針 (3)生涯学習機関等の充実

推進項目

①公民館・図書館等の計画的な施設整備

主な取組

指標内容	現状(R6)	目標値(R11)
各公民館の整備	10 施設	10 施設
新図書館の整備	—	—

○生涯学習の拠点であるコミュニティセンター・公民館の施設が、利用者の活動に支障をきたさないよう、関係課との連携を図りながら計画的な環境整備に努めます。

○複合交流施設に図書館機能が整備される構想について、関係課と連携し準備を進めます。

○熱中症対策の一環として、空調等を設置するなど、環境改善に努めます。

推進項目

②機能の充実と施設の認知度向上

主な取組

指標内容	現状(R6)	目標値(R11)
LINE 等の予約数	361 件	460 件
コミュニティセンター・公民館利用者数	9,522 人	9,600 人

○コミュニティセンター・公民館・図書館等の予約がしやすいようLINE等を活用し、利用者の利便性の向上を図ります。

○毎月発行している各公民館だよりの内容の充実と共有、発信方法等について、工夫、改善を図っていきます。

4. 計画の推進

推進体制

本計画の推進にあたっては、市民、家庭、学校、地域、各団体等が一体となり、積極的に取り組むことが必要です。

それぞれが支援し合いながら推進体制の連携強化を図り目標達成に向け、精力的に取り組んでいきます。

また、必要に応じて取り組みを見直ししながら進行管理を行っていきます。



■男鹿市なまはげの里フィロソフィについて

一度しかない人生を充実した幸せなものにするため「なまはげの里フィロソフィ」を令和4年度に策定しました。

「自分の才能を社会のために使う」「新しい道にチャレンジを続ける精神」など豊かな人材育成の取り組みが、生涯学習推進に大きな役割を果たしています。

第4章 第4次男鹿市子ども読書活動推進計画

1. 子ども読書活動の推進

推進項目

①子ども読書活動の環境整備・充実

子どもが多く絵本や児童書に触れることができるよう、読書環境の更なる充実を図ります。

主な取組

指標内容	現状（R6）	目標値（R11）
図書館の人口1人当たりの貸出冊数	1.73冊	1.80冊

○複合交流施設の核となる図書館が、子どもにとって親しみやすい空間となるよう整備に努めます。

○地域子育て支援センター、家庭教育支援チーム、児童クラブ、商業施設など、子どもが訪れる施設の読書環境の充実を図ります。

○認定こども園、保育園、幼稚園の読書環境の更なる充実を支援します。

○学校図書館の更なる整備、充実を支援します。

推進項目

②子ども読書活動の推進

子どもが生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を確立するため、地域、認定こども園、保育園、幼稚園、学校、図書館において読書に親しむ機会の更なる充実を図ります。

主な取組

指標内容	現状（R6）	目標値（R11）
図書館読書イベントの開催回数	26回	31回
図書館ボランティアの幼児・児童向けおはなし会の開催回数	13回	17回

○地域、認定こども園、保育園、幼稚園では、読み聞かせやおはなし会を開催し、本に親しむ機会の更なる充実を図ります。

○各学校において読書活動の更なる推進を図ります。

○大活字本や点字本の整備を進め、障がいのある子どもへの読書機会の充実を図ります。

推進項目

③子ども読書活動の普及・啓発

読書の大切さや魅力を伝えるため、一層の充実を図っていきます。

主な取組

指標内容	現状（R6）	目標値（R11）
図書館の児童生徒向け図書展示の件数	12件	24件
幼児・児童生徒向けおすすめ本ブックリストの発行回数	0回	12回

○図書館においてイベントを通じた読書活動の普及に努めます。

○ホームページやSNS等を活用し、情報発信に努めます。

○対象に応じたおすすめ本のブックリストを作成するなど、図書の情報を提供します。

○「こどもの読書週間」や「秋田県読書フェスタ」などと連携した企画展示やイベントを開催し、読書に対する意識の向上を図ります。



資 料

1. 生涯学習施設一覧

	施設名	場 所	施 設 の 概 要
1	船川港公民館	船川港船川字外ヶ沢126-1	体育室、和室2、研修室 調理室、会議室
2	北浦コミュニティセンター (公民館)	北浦北浦字杉原9-1	体育館、和室3、会議室 調理室
3	脇本コミュニティセンター (公民館)	脇本脇本字前野8	ホール、調理室、研修室3 図書室、大会議室1
4	船越コミュニティセンター (公民館)	船越字船越40	体育館、和室3、会議室2 調理室
5	五里合コミュニティセンター (公民館)	五里合神谷字下石27	和室3、体育館、調理室 会議室、事務室2
6	男鹿中コミュニティセンター (公民館)	男鹿中山町字家口144-2	講堂(体育館)、大会議室 研修室、図書館、展示ホール 調理実習室
7	戸賀コミュニティセンター (公民館)	戸賀浜塩谷字大水沢15-2	会議室、研修室、調理実習室 体育館、事務室、診療室
8	椿コミュニティセンター (公民館)	船川港椿字東27	研修室(和室2、洋室2) 調理実習室、体育館、事務室
9	船川北公民館	船川港比詰字大沢田44-4	プレイルーム、事務室 会議室、和室
10	若美コミュニティセンター内 若美公民館	角間崎字家ノ下54	大会議室、小会議室 視聴覚室、和室、図書室 大集会室、事務室2

図書館

	施設名	場 所	施 設 の 概 要
1	男鹿市立図書館	船川港船川字外ヶ沢126-1	展示、談話室、開架式書架 事務室、児童閲覧室、 一般閲覧室、物品庫
2	若美図書室	角間崎字家ノ下54	開架式書架、一般閲覧室

文化交流施設

	施設名	場 所	施 設 の 概 要
1	男鹿市ふれあいプラザ ハートピア	船川港船川字外ヶ沢126-1	サンルーム、ホール、練習室 プレイスペース、ギャラリー 談話コーナー、和室

2. 第5次男鹿市生涯学習推進計画策定委員 名簿

	氏 名	所 属
1	泉 明	男鹿市図書館協議委員
2	西村 栄子	男鹿市生涯学習奨励員
3	三浦 亮	男鹿市社会教育委員
4	嵯峨 昌樹	男鹿地域リハビリステーション 健康運動指導士
5	今村 安里	男鹿駅周辺賑わいづくり 共同事業体
6	清水 琢	男鹿市こども未来課課長
7	太田 真樹美	男鹿船越こども園統括副園長

※任期: 令和7年7月1日から令和8年3月31日まで



第5次男鹿市生涯学習推進計画

令和 8 年3月

編集・発行

男鹿市教育委員会 教育総務課 生涯学習班

男鹿市立図書館

〒010-0595

男鹿市船川港船川字泉台 66-1

TEL 0185-24-9133

FAX 0185-24-9156